

突然のしびれに救急搬送された方。

脳梗塞を疑いましたが、ヘルペスが原因でした。

## 「リウマチ性多発筋痛症との戦い（3）」

えっ、ヘルペスでこんな事が！」

安武 修二（福岡県調理師） 64 歳

2016 年 3 月 21 日

[リウマチ性多発筋痛症 手記（1）2014 年 6 月 17 日](#)

[リウマチ性多発筋痛症 手記（2）2015 年 11 月 22 日](#)

リウマチ性多発筋痛症を患って約 2 年半になりました。もう仕事も出来るし、ゴルフも出来、体の痛みも膝、肩にわずかに残っている程度にまでなりました。ところが 2 月 21 日の日曜日、いつものように漢方の風呂に入った日のことでした。私は、漢方風呂には、1 回 15 分～20 分位の時間で 4 回～5 回入ります。その日は、そんなに体調が悪いこともありませんでした。ところが、風呂から上がり、リビングの椅子に腰かけている時でした。急に左足首と足の甲にしびれが走り、自力で立てなくなりました。左足首は全く動かすことが出来ず、足の甲を触っても何も感じませんでした。怖くなり、その場にそのまま横になりました。左顔面も強張ったように気持ち悪くなり、しびれが出だしました。左手も少ししびれが出てきました。喉もカラカラです。気分も悪くなりました。これは、ひょっとすると脳梗塞の症状では？妻が救急車を呼びました。血圧 177-112、脈拍 80 でした。意識はしっかりあり、救急隊員の方の問いかけにはきちんと答えることが出来ました。この時は、脳梗塞の事しか頭になく只々怖くて、ヘルペス菌のいたずらとは思っても及びませんでした。

受け入れ先の病院まで 15 分ほどで到着しました。その日は救急患者さんが多く 20 分ほど待たされました。検査をする前に、先生が足を触って「どうですか、感じ取れますか？」と言われました。その時、少しですが感じる事が出来、左足の親指を動かすことが出来ましたが、しびれ感はありました。MRI 検査は、異常なしでした。しばらく、様子を見ていると足を引きずりながらも自力で歩くことが出来、多少の違和感はありましたが顔面のしびれも左手

のしびれもなくなり、入院することもなく帰宅できました。

私が検査している間に、妻が松本先生に連絡を取っていたようで、「先生から何時でもいいから、検査の結果を連絡しなさい。大丈夫だよ。」と言ってもらったからと言いき、救急病院の先生も「松本先生に結果を書きますね。」と書類を用意してくださいました。もちろん、妻はすぐ松本先生に結果を報告、先生は「ほら、大丈夫だったでしょ、降圧剤を飲んでなかったら飲んで、明日、本人が電話してくるように。」と言ってくださいました。休診日に、電話に出ていただき、名前を言っただけで誰かちゃんと判って頂き、力強い言葉を頂き、本当に感謝です。松本先生に連絡をし、再度症状を伝え、ヘルペス菌のいたずらである事を再認識させられました。体調も良く、当初のヘルペス菌による諸症状をすっかり忘れていました。足も腫れ、ドアノブさえ回せなかった、お箸さえ持てなかった事をすっかり忘れていました。まだまだ戦いは続いていました。先生からアシクロビルを1日12錠飲みなさいと言われ、6錠まで減らしていたアシクロビルを12錠にしました。

翌日は、足の痛みは少々残っていましたが、歩ける状態で仕事も出来ました。2、3日は歩き方が変だったようで、足首が上手く上がらず、ペタンペタンと歩いていました。その後、前のように回復し3月13日に、前から大阪へ通院を予定していたので松本先生のところへ定期健診に行き、お話を聞いてきました。漢方風呂に入って急に免疫が上がり、ヘルペス菌と戦ったんじゃないかという判断でした。そのお話を聞いて納得し、まだまだ自分の身体が正常でない事を再確認させられました。少々のことでも慌てたらいけないということもわかりました。今回の事では、松本先生にご迷惑をおかけしました。遠方なので何かあると不安が先に立ってしまいました。本当にありがとうございました。心より感謝しております。

あともう少し気長に頑張ります。今度のことが、ヘルペス菌の最後のあがきであってくれればと願いながら。